

特別展 大河津分水の桜

1. イベント概要

期 間：令和3年4月1日(木)～4月18日(日)

会 場：信濃川大河津資料館

内 容：大河津分水の桜の歴史のパネルやおいらん道中の写真等を紹介しました。

主催者：信濃川大河津資料館

協 力：燕市観光協会



大河津分水の桜の歴史のパネルやおいらん道中の写真等を紹介しました。

2. イベント状況

大河津分水の桜はなぜ植えられたのか、分水おいらん道中はなぜ始まったのか。大河津分水の桜の歴史をパネル等で紹介したほか、中止となった分水おいらん道中の実物大パネル等を展示しました。



パネル約30枚とおいらん役の特大パネル3枚を設置しました。また、昭和20年代から30年代にかけて撮影された大河津分水の桜とおいらん道中の写真も合わせて展示しました。



大河津分水の桜の歴史は古く明治43(1910)年頃から植樹が始まったと資料に記されています。枯れ死や伐採などのピンチを乗り越えて現在の大河津分水の桜があります。



分水おいらん道中が中止となった代わりに燕市観光協会からおいらん役の特大パネルを展示していただきました。



期間中にはNPO法人信濃川大河津資料館友の会主催の「お茶を楽しむ会」が同じ会場で開催され、多くの方から展示をご覧いただくことができました。



大河津分水では4月2日に桜が開花するなど例年になく早い時期での開花となりましたが、大河津分水路に沿って見事に桜が咲き誇りました。

来場者の声

- この展示を見てから大河津分水の桜を眺めると、綺麗な桜の背景に先人達の想いを感じられ、より深く大河津分水を知ることができたように思います。
- 大河津分水の桜は初めて見たのですが思った以上に見ごたえがあり、菜の花とのコントラストが印象的でした。
- おいらん道中の大きなパネルはいいですね！来年こそは本物のおいらん道中が見たいです！